

SOPHIANS Now



変わるメンスト

メンストがどんどん進化しています。
1号館前の植え込みが、S-TERRASSE (Sテラス) になりました。
中央には、初代学長ヘルマン・ホフマンの像。
今の学生がその周りに集まっています。
そして、メンスト中央には大学のエンブレムが。
Google Mapで上空からの映像を検索すると、
上智大学の場所がすぐわかるという仕組みです。
メンストも、時代の流れに合わせて変わっていきます。



ソフィアンズ顕彰表彰式

ソフィア会への貢献者 13 名を表彰

10月8日(土)に学内6号館101教室で開催した秋季全国代議員会において、3年に1度のソフィア会貢献者の表彰を行いました。この「ソフィアンズ顕彰表彰式」は今回が4回目で、今年は13名の方に賞状、記念の盾を送りました。

式は、被顕彰者選考委員長が顕彰者表彰制度について説明のあと、今回の被顕彰者が次々と登壇し着席。その後、鳥居会長からそれぞれの受賞者に賞状と記念のクリスタル盾が手渡されました。また、受賞者を代表して戸川宏一さんが次のように挨拶をしました。

「2017年から2020年の約3年4カ月にわたりソフィア会会長を務め、鳥居現会長にバトンタッチさせていただきましたが、退任してからすでに2年が経ちました。コロナ感染症が蔓延し始めた中での会長退任でしたので、皆さまに直接感謝を申し上げる機会がありませんでした。今回の2022年顕彰式で顕彰していただきました御礼を申し上げますと共に、会長在任中の皆様から頂戴した温かいご支援に深く感謝申し上げます。

これまで約15年以上にわたりソフィア会に関わらせていただきましたが、私が上智大学やソフィア会に少しでも貢献できたとすれば、それは上智の諸先生、諸先輩から教えていただいた母校に対する強い思いであり、皆様から頂戴した温かいご支援の賜物だと思っています。

上智学院・大学とソフィア会が強い絆で結ばれ、グローバルにソフィアンの輪が大きく強くなってきているのは、それぞれの場で努力して頂いている多くのソフィアンの皆様のお陰です。ありがとうございました」

このソフィアンズ顕彰表彰式は、2013年の上智大学創立100周年を機に設立された「ソフィア会に顕著な貢献のあった会員を顕彰する」ことを目的とした「上智大学ソフィア会貢献者に対する顕彰規程」に基づくもので、第1期被顕彰者選考委員会において15名、第2期被顕彰者選考委員会において14名、第3期被顕彰者選考委員会において13名の被顕彰者を決定、それぞれ2013年、2016年、2019年の秋季全国代議員会においてソフィアンズ顕彰表彰式を行っています。



今回の受賞者は以下の方々です(敬称略、卒年順、肩書は代表的なもの)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 川野克美 (1958 経経、第二代経鸞会会長) | 鳥飼玖美子 (1969 外西、ソフィア会前副会長) |
| 下村善和 (1959 経商、大分ソフィア会前会長) | 高祖敏明 (1971 文哲、上智学院前理事長) |
| 戸川宏一 (1963 経商、ソフィア会前会長) | 枝川葉子 (1972 外独、ピタウ先生を語る会) |
| 山本雄造 (1963 法法、北九州ソフィア会前会長) | 大宅一裕 (1973 外独、香港ソフィア会) |
| 風間烈 (1965 外仏、フランス語学科同窓会前会長) | 辰巳貞一 (1973 法法、関西ソフィア会会長) |
| 浅野祐一 (1967 経商、とちか帯広ソフィア会会長) | 溝間良輔 (1978 経営、ソフィア経済人倶楽部、経鸞会) |
| 大坂靖彦 (1968 経経、香川ソフィア会元会長) | |



地域ソフィア会全国大会 「2022信州大会」

4年ぶりに全国から ソフィアンが松本に集合



「地域ソフィア会全国大会 2022 信州大会」が9月24日(土)、25日(日)の両日、アルプスソフィア会がホストソフィア会、そしてコホストを千曲川ソフィア会と山梨ソフィア会が務め、長野県松本市のホテルブエナビスタをメイン会場として開催されました。全国そして海外からソフィアンや大学関係者など約200名が参加しました。

全国大会は今回で11回目。コロナ禍もあって4年ぶりの開催となりましたが、今回は女性参加者も多く華やかな雰囲気、これまででない盛り上がりを見せました。

リアルで会うのは久々

24日の午後1時半、松本市で最高位にランクされるホテルブエナビスタのメイン会場「グランデ」に全国から次々と会員が訪れる中、第1部「情報交換会」で信州大会はスタート。今回の信州大会をソフィア会として管轄する組織委員会の委員が次々と登壇し、ソフィア会組織委員会としての活動を説明。

続く「大会式典」では今回の実行委員長、山崎良弘さん(1978 外西)が登壇。コロナ禍で大会が延期されたことを振り返り「私は、実行委員長を3年やりました。それだけ時間をかけた分、素晴らしい大会にしたい」と今回の大会にかける思いの一端を語りました。

ソフィア会の鳥居正男会長は「会長になって丸2年経ちましたが、この間対面でのイベントは少なく、多くの人にリアルでお会いするのは今回が初めて。この大会でソフィアンの絆が深まることを期待したい」と、この大会にかける意気込みを語りました。

続いて、来賓の佐久間勲上智学院理事長、曄道佳明上智大学長から祝辞をいただき「記念講演」へ。最初に登場したのは、ロイタービデオニュースのシニア・プロデューサーでドキュメンタリー映画監督など多くの肩書を持ち、世界で活躍している我謝京子さん(1987 外西)。講演のテーマは「上智での学びから生まれた映画『ハボンさん』—人生の点と点が繋がる瞬間。ご自身で制作した映画『ハボンさん』の上映とともに、「点と点の繋がり」により今日があることに気づくことの大切さを語りました。



会場には200名の参加者

続く記念講演は菅谷昭さん(松本大学長、前松本市長)のテーマは「スラブ族の人々と関わって—ベラルーシでの医療支援活動、そしてロシアのウクライナ軍事侵攻」。ご自身がチェルノブイ

リ原発事故の後に現地を訪れ、医療活動を行った経験を踏まえ、現在進んでいるロシアによるウクライナへの侵攻の背景を探りました。

つながった、ソフィアンの輪

信州大会は、このような充実した式典や講演会を経て、会場を2階パンケット「メディアーノ」に移し、懇親パーティへ。それまでは、話を聞くだけだった参加者が、参加者同士で自由に交流する場面へと展開しました。

懇親会は、地元の才能教育(スズキ・メソッド)の子どもたちによるバイオリン演奏の後、戸川宏一前ソフィア会会長の乾杯でスタート。理事長、学長も参加する中、いたるところで懇親の輪が広がりました。初対面同士でも、すぐに親しく歓談できるのがソフィア会のよいところ。まさに、ソフィア会のスローガンである「つなげよう、



我謝さんと支倉常長14代目の正隆さん

広げよう、深めよう、ソフィアンの絆」が実践された時間でした。会場では、おいしい料理と山梨のワイン、信州の地酒などのアルコールなどが自由に楽しめ、途中でそば打ち名人による信州そばもふるまわれました。

今回は、特に女性ソフィアンの姿が目立ったように思います。かつて男子校だった上智に女子学生が入学し、その方たちがソフィア会でも主要な役割を担うようになったためだと思います。現在の学生は女子学生が過半数を占めますが、ソフィア会もいずれ女性がさらに活躍する時代がやってくることをうかがわせる風景でした。その後は、また会場を移して二次会へ。正山陽子さん(2000 文史)のトリオジャズライブショーを楽しみながら、懇親の輪は夜遅くまで続きました。

今回はちょうど台風15号が愛知から静岡などを直撃するタイミングで、前日に大会にこられた方は、電車が止まるなど影響を受けたようですが、24日は天気も回復。翌25日は秋晴れの素晴らしい天候の中で、上高地散策やワイナリー巡りなどのエクスカージョンを楽しまれた方も多かったようです。

来年の全国大会(鹿児島大会、2023年9月9日~10日)が今から楽しみ、という声があちこちから聞かれたように、実際に会う大切さを実感した大会だったといえるでしょう。



パーティでも多くの女性会員が

2022年度全国代議員会報告

事業報告・決算報告などを承認

秋には3年に1度のソフィアズ顕彰表彰式も

ソフィア会の最高議決機関は年2回、5月と10月に行われる全国代議員会。会員から選出され、承認された代議員約500名が年次決算や予算、活動方針などを審議します。2022年度も春は5月21日(土)、秋は10月8日(土)に開催、規約に基づいて議事を審議し、報告事項についても承認しました。

春季全国代議員会はオンラインで

春季全国代議員会は5月21日(土)午後2時から、新型コロナウイルスの影響で対面形式ではなく事前の郵便による投票と電磁的投票(Web投票)、および学内ソフィアズクラブに設置したオンライン会議システムの併用で行いました。

代議員会ではまず、鳥居正男会長がこの間のソフィア会の状況などを含め、挨拶を行いました。その中で鳥居会長が強調したのはコロナ後のソフィア会の姿でした。

「今年度は、“with コロナ”から“after コロナ”への移行を視野に入れながらの運営となる、ソフィア会にとって大事な1年になります。ニューノーマルに備え、新たな試みを検討、実行されている大学にソフィア会も積極的に貢献していきたいと考えています。ソフィア会のミッションである「大学への貢献・学生支援」と「卒業生のネットワーク作り」という原点に立ち返り、しっかりと実行していきたいと思っております」と述べました。

また、大学と歩調を合わせ取り組んでいるウクライナ学生支援については次のように語りました。

「ウクライナの悲惨な状況をニュースで見聞きするたびに胸が痛みます。上智大学はウクライナからの学生を受け入れる準備をしていますので、ソフィア会としても積極的に、学生へのサポートを進めて参りたいと考えています」

来賓として出席いただいた佐久間理事長の挨拶に続き、畔道佳明上智大学長も上智大学の取り組みを紹介したあと、ウクライナ情勢に関わる上智大学の具体的な取り組みとして、ウクライナから留学生10名を受け入れ、渡航費と生活費を支給し、学費と滞在中の寮費を免除すると紹介。その他、ウクライナ平和シンポジ



徐々に6-101での対面代議員会

2021年度収支決算書 自2021年4月1日至2022年3月31日

(単位:円)

項目	2021年度予算	2021年度実績
【収入の部】		
1 終身会費(同窓会費)	120,000,000	119,730,000
2 維持会費(運営協力費)収入	3,500,000	4,802,000
3 上智学院預け金利息	2,500,000	2,667,975
4 カード手数料収入	3,000,000	2,614,397
5 クラブ使用料収入(注1)	2,000,000	166,000
6 その他収入(ネットショッピングなど)	500,000	8,376
収入計(a)	131,500,000	129,988,748
【支出の部】		
1 事務局費		
人件費	8,030,000	9,101,898
通勤費	1,350,000	427,580
業務委託費	430,000	422,400
会議費	1,230,000	560,936
通信運搬費	650,000	861,187
印刷費	700,000	256,300
消耗品費	1,300,000	880,387
機材使用料	3,410,000	2,259,068
渉外費	100,000	0
銀行手数料	200,000	317,988
その他費用	1,390,000	299,317
1 事務局費支出合計	18,790,000	15,387,061
2 事業費		
① 広報費 (計)	(18,550,000)	(17,292,850)
会報印刷・その他費用(注2)	4,100,000	2,846,330
ウェブサイト費(ホームページ費)	3,450,000	3,446,520
未来募金・配送料見合	11,000,000	11,000,000
② ソフィアズクラブ費(注1) (計)	(8,860,000)	(4,873,660)
クラブ人件費	1,600,000	1,368,000
クラブ通勤費	200,000	111,120
クラブ業務委託費	200,000	165,000
クラブ管理費(夜間)	4,750,000	1,818,850
クラブ水道光熱費	700,000	407,594
クラブ備品費	850,000	801,460
クラブその他費用	560,000	201,636
③ 奨学金(ソフィア会奨学金)	11,850,000	11,850,000
④ 募金委員会費(維持会費を含む)	700,000	639,257
⑤ ASF運営費(注3)	5,200,000	2,266,765
⑥ ASC運営費(注3)	800,000	455,726
⑦ 地域・各種ソフィア会連携推進費(注4)	4,610,000	227,012
⑧ 国際委員会費(注4)	1,600,000	709,206
⑨ 学生支援事業 (計)	(12,065,000)	(11,692,350)
寄付講座費	1,000,000	1,000,000
学生課外活動支援費	10,000,000	10,000,000
その他の学生支援費(ソフィア祭現役支援等)	600,000	600,000
OBOG交流会費(注4)	200,000	0
キャリア支援プロジェクト費(注4)	265,000	92,350
⑩ その他事業費(注4)	12,280,000	8,668,026
⑪ 学部・学科同窓会支援費(注4)	5,420,000	2,766,928
⑫ 社会貢献推進委員会費	40,000	51,730
⑬ オリピック・パラリンピック支援特別委員会費(注4)	290,000	73,310
⑭ ITインフラ支援費	1,500,000	1,258,400
⑮ 名簿管理費(注4)	2,000,000	540,815
⑯ 新型コロナ禍学生支援寄付(注5)	-	30,000,000
2 事業費支出合計	85,765,000	93,366,035
3 予備費	3,000,000	0
支出計(b)	107,555,000	108,753,096
当期収支(c=a-b)	23,945,000	21,235,652
期首積立金(純資産)	238,256,589	238,256,589
当期収支(c=a-b)	23,945,000	21,235,652
期末積立金(純資産)	262,201,589	259,492,241

(注1) ソフィアズクラブは、2020年度に続きコロナ禍による影響に鑑み、閉館もしくは制限付の開館となり稼働が上がりませんでした。その結果、収入および支出は減少しています。

(注2) 隔年発行のハンドブックを、コロナ禍により対面での会合が減少したことにより制作をとりやめ、支出が予算を下回りました。

(注3) ASFおよびASCについては対面での開催を予定していましたが、2020年度に続きオンライン配信による事業規模縮小での開催となり、支出が予算を下回りました。

(注4) 2021年度に実施を予定していた企画の一部について、コロナ禍による影響を鑑み、中止、延期またはオンライン配信などの事業規模縮小での開催となり、支出が予算を下回りました。

(注5) 2021年10月開催の秋季全国代議員会において承認された上智学院への緊急学生支援支出によるものです。

ウムの開催やウクライナ人道支援募金への協力も呼びかけました。

その後、代議員会は定足数の確認および報告、議事録作成人と議事録署名人の指名を行い、定足数を満たし会が成立していることが報告され、規約に基づき鳥居会長が議長となり議事を開始。5つの審議事項につき説明を行いました。

審議事項①の「新規代議員承認の件」、②の「地域・各種ソフィア会の登録要件の改定等」、③の「2021年度事業報告・決算報告及び監査報告

の承認」、④の「2022年度事業計画及び予算案」、⑤の「ソフィア会からの「ソフィア会奨学基金」への年間積立金を増額提案の件」をそれぞれ担当委員長などが説明。

2021年度の事業報告については、新型コロナウイルス感染拡大によるさまざまな制約の中で、オンライン会議システムを活用した効率的な会議運営を実施。これにより、将来ビジョンに関わる活動の進展、母校への貢献・現役学生支援の継続、上智大学および上智学院との協力、連携強化を図ることができたとの報告がありました。また、オンラインを生かしたイベント展開など、従来は遠隔地のため参加できなかった会員も活動に積極的に関わることができました。最後にすべての事項について事前投票で可決・承認されたことが報告されました。

その後、報告事項として①オリンピック・パラリンピック支援特別委員会解散と引き継ぎ業務終了報告、登録団体（ピタウ先生を語る会）の解散について報告、議事は予定時刻の前の午後3時35分には終了しました。当日の参加者は115名（オンライン参加者と会場での参加者合計）でした。

秋季全国代議員会は対面で—ソフィアズ顕彰も

秋季全国代議員会は10月8日（土）午後2時から、学内6号館101教室で行いました。この大会は2019年秋以来の対面での開催となり、多くの代議員がFace to Faceの大切さ、喜びを実感していました。

鳥居ソフィア会会長も「会長に就任しましてからちょうど丸2年経ちますが、新型コロナの影響で、代議員会も就任以来4回目にして初めて対面での開催が実現しました。今まで皆さんの前に顔をお見せする機会が限られておりましたが、今日こうして直接皆様とお会いできますことを大変嬉しく思います」と挨拶。

続いて、来賓としてお越しの佐久間勲上智学院理事長が、主に現在進行中の四谷キャンパスの整備について紹介。15号館の竣工、そして正門やメインストリートの整備の状況を説明しました。かつての学園紛争時代のいかにも頑丈そうな門に代わって、新しい正門



代議員会後の懇親会ではアクリル板で囲まれお弁当を黙食

は訪れる人を温かく迎えるようなイメージ。そこから続くメインストにもテラスが新設され、学生たちが憩えるスペースが設けられました。今後も、7号館や中央図書館の改修などが続くようです。

佐久間理事長は続いて、上智学院の中長期計画「グランドレイアウト」を2023年から2031年を見据えて策定中であることを説明。上智が「選ばれ続ける大学」であるため、卒業生の支援を呼びかけました。

代わって登壇した暁道佳明上智大学長は、現在の大学の

学生数は1万2,200名、教職員は540名で、規模としては私立大学としては2～3番目の少人数であること。現在9つの学部、29の学科があるが、これらが新たな英語学位習得プログラム（SPSF-Sophia Program for Sustainable Futures）で、共通プラットフォームで学位を取得することができるような仕組みも新たに用意されているなどを紹介。

コロナでオンライン授業が続いていましたが、「ようやくキャンパスで通常の対面での授業ができるようになってきました。現在、9割以上が対面での授業で、キャンパスに学生が戻ってきました」と大学の状況を語りました。

来賓挨拶に続き、今回は3年に1度のソフィア会貢献者の表彰。この「ソフィアズ顕彰表彰式」は今回が4回目で、今年は13名の方に賞状、記念の盾を贈りました。

表彰式に続き、大会は議事に入り、最初に鳥居会長がスライドを示しながら活動を報告。

この中で鳥居会長は対面での大会が開催できなかったこの2年間を振り返って、ソフィア会の常任委員会をどのように運営してきたか、ASF、ASCなど各種イベントの開催、理事長、学長をはじめとする大学側との意見交換、現役学生支援、各委員会の活動、今後の予定イベント、募金などの状況について説明。最後にソフィア会のスローガン「つなげよう、拡げよう、深めようソフィアンの絆」の実践を呼びかけました。

審議事項に移り「新規代議員の承認の件」、「上智大学へのウクライナ学生支援に関する寄付の件」、「新規登録団体承認の件」のいずれも承認されました。

その後2つの報告があり、秋季代議員会は午後4時過ぎには終了。その後場所を2号館5階の学生食堂に移し、懇親会を行いました。懇親会も久々の開催でしたが、まだアルコールの提供はなく、代議員はアクリル板で囲まれ着席で弁当を黙食。かつてのように学生のパフォーマンスを見ながらの盛り上がりを見せる懇親会にはまだ時間がかかりそうです。

リアルとオンラインでのハイブリッド開催 新しいASFの姿が見えてきた

5月の最終日曜日に当たる29日、ソフィア会は公式行事として「オールソフィアンの集い (ASF)」を行いました。コロナ禍によって2020年、2021年はリアルで集まることはできずオンライン開催となりましたが、今年は3年ぶりに四谷キャンパスも開放。オンラインも含めたハイブリッドASFとなりました。キャンパスのメンストには野外ステージも復活、オンラインでは世界各地のソフィアンを結ぶ「Sophians around the world」を配信するなど、世界中のソフィアンを結ぶ新時代のASFの姿を浮き彫りにしました。当日は四谷キャンパスに約5,000人、オンラインでも約6,000人が視聴、世界中から合計1万1,000人が参加する一大イベントとなりました。

キャンパスにソフィアンが帰ってきた

ASFのため、四谷キャンパスがオープンされたのは3年ぶり。海外からそして国内各地から、飛行機や電車を乗り継いでこのイベントに合わせ多くのソフィアン訪れました。



キャンパスにはいたるところに今年のASFの注意事項が。感染予防のためアルコールは禁止。食事も指定の場所で、黙食で

が、かつてのようにパラソルの下でワイワイガヤガヤという雰囲気はまったくなく、シーンと静まり返っていました。

しかしそのせいなのか、メンストなどで目立ったのはベビーカーを押した家族連れの姿。以前は生ビール・焼きそばが定番の模擬店でしたが、今年はソフトドリンク、ホットドッグ、わたあめ、などなど。キャンパスを訪れた人数がかつての半分ほどだったこともあって、飲食コーナーなどでゆったりくつろぐファミリーの姿が目立ちました。



いつもは生ビールが売れる模擬店も、今年はソフトドリンク。目立ったのはお子さんをベビーカーに乗せた家族連れの姿



5月の最終日曜日はいつも快晴。新しい建物ときれいになったメンストに、久しぶりに訪れた卒業生はびっくり



国文科同窓会では、今年第30回コムソフィア賞を受賞した国文科卒、玉川奈々福さんの舞台が用意されました

大名跡の襲名を控えた歌舞伎役者も、お子さん二人を連れてASFに来られたようです。5月29日当日のブログでは「わたあめ」とのタイトルで写真をアップ。お子さんがメンストでわたあめを買っている姿やソフィアンくんに抱かれている姿などが掲載されています。

そんなファミリーな風景の一方、今回復活した野外ステージでは、学生団体が中心となり朝10時から夕方5時過ぎまで、歌、ダンス、ライブ、またファッションショーまでさまざまなパフォーマンスが繰り広げられました。

教室でも多くのイベントが。大人気企画の「ゆる婚」、キルトの展示とバザーのThe Sophians' Quilt Society、国文学科同窓会は第30回コムソフィア賞を受賞した浪曲師、玉川奈々福さんの講演会。奈々福さんは紀尾井亭(旧福田家)で行われたソフィア寄席にも登場、そして10号館講堂では恒例の晴佐久神父の講演会など。いずれも四谷に来なければ、体験できないリアルでのイベントでした。

しかし、ステージで夕方5時前から行われたグランドフィナーレは、オンラインでも配信。オンラインで視聴している人もあたかもキャンパスにいるかのような雰囲気に。まさにハイブリッドならではの演出となりました。



オンラインでも充実のプログラムが。森下哲朗副学長の講演「交渉学の現在」もプレゼン資料を見ながら理解しやすい



ステージの最後は理事長、学長、ソフィア会会長、実行委員長などが登壇して一言ずつ挨拶。オンラインでも「上智大学万歳」を見ることができました

グランドフィナーレでは応援団が演舞のあとに校歌をリード。みんなで歌う、久々の校歌でした。そして最後は、佐久間勤理事長、曄道佳明上智大学長、鳥居正男ソフィア会会長、そして今回のASFの実行委員長、笹原明代さん（1989 外独）などが並び、それぞれが挨拶。佐久間理事長恒例の「上智大学万歳」も3年ぶりに見ることができました。

“時空を超えた” 新時代の ASF



オンライン企画の「ぶらり上智」。昔懐かしい教室や新しい建物などをぶらぶら歩きながら紹介。自宅に居ながら、今の母校の姿を見ることができました

一方のオンライン ASF は、2つのチャンネルを用意。チャンネル1では6号館101教室を拠点に、ASFを長年支えてきた総指揮の金谷武明さん（1995 法法）、総司会会の森重有里彩さん（2016 社福）、そして今回の実行委員長である笹原さんがASF全体をナビゲーションする形でプログラムを進行。この6-101教室は開放されており、四谷キャンパスを訪れた人は、自由にその配信の様子やプログラムを視聴できる、まさにリアルとオンラインのハイブリッドが体験できる空間となりました。

チャンネル2はオンラインASFの目玉企画となった感のある「Sophians around the world」が中心。この企画を立ち上げから携わっている豊田圭一さん（1992 経経）が南北アメリカ、アジア・オセアニア、ヨーロッパ・アフリカと、地球の自転に合わせる



3年ぶりに復活したメンストの野外ステージ。学生団体などが次々と登場して、パフォーマンスを繰り広げました



オンライン企画の定番となった「Sophians around the world」。南北アメリカ編からアジア・オセアニア、ヨーロッパ・アフリカとグルッと地球を一周しました

形で地球を一周、世界各地のソフィアンに現地の状況などを聞いていました。

そして、この2つのチャンネルの間に上手に組み込まれた講演会。森下哲朗副学長の「交渉学の現在」、ドラマ・プロデューサー磯山晶さん（1990 文新）の「ドラマ業界のあるあるを聞いてるうちに、人生の向かうべき方向に気づくかもしれない」などが自宅のパソコンからもプレゼン資料を見ながらオンラインで聞ける、オンラインASFの特長が十分に発揮された企画となりました。

講演会はあらかじめ収録された映像を配信する形がほとんどでしたが、笹原実行委員長の講演「変化する時代を生き抜く～これからのキャリアデザインを考える」は、自身がナビゲーションを務めている6-101からのリアル配信。さらにチャリティ・オークションもオンラインと同時にリアルで6-101会場からも入札を受け付けるという、地域と時間、つまり時空を超えた新時代のASFの世界を作り出していました。

今回も、ASFの実行委員会の事前打ち合わせはすべてZoomで行われたといえます。コロナ感染対策はもちろんですが、忙しい時間をやりくりしてわざわざ対面で会議するより効率的だったようです。今年のASFを見ると、それがよくわかります。つまり、リアルの良さもオンラインの良さもある、その両面をハイブリッドさせた、With コロナの新たな時代にふさわしいASFだったといえるでしょう。

オンラインの2つのチャンネルはすでにアーカイブが提供されており、YouTubeでいつでも見ることができます。また、講演会などもそれぞれの担当者が詳細なレポートを用意、または用意するはずですので、ぜひソフィア会のWebサイト（ホームページ）やFaceBook、個々の団体のブログなどでチェックして今年の“新時代ASF”を振り返ってください。

今年のコムソフィア賞は高祖敏明先生 授賞式と記念講演会を11月15日に開催

今年のコムソフィア賞の受賞者は上智学院前理事長の高祖敏明先生（1971 文独、1976 院博、現聖心女子大学学長）で、授賞式と記念講演会を11月15日（火）午後6時から2号館1702国際会議場で行いました。

高祖先生が編集責任者となって編纂された『潜伏キリシタン図譜』が5年の歳月をかけて完成、昨年出版されたことが授賞の対象となりました。同書は、潜伏キリシタンという日本独自の信仰の形を、各地に散逸する資料を丁寧に収集して再構成したもので、菊倍判上製、816ページ、オールカラー、特殊製本加工DVD付、函入りという大作で、定価は10万円。まさに、後世に残る貴重な文献となっています。

11月15日の記念講演会では、高祖先生に「『潜伏キリシタン図譜』が問いかけるもの」とのテーマでお話いただきました。

コムソフィア賞はソフィア会とマスコミ・ソフィア会が共催（上智大学後援）し、メディアで活躍するソフィアンを表彰するもので、今年第31回目を迎えます。



ソフィアン国家公務員と話そうー日本、世界で活躍する先輩たちー



10月26日、ソフィア会の共催によりシンポジウム「ソフィアン国家公務員と話そうー日本、世界で活躍する先輩たちー」（主催：上智大学国際関係研究所）が3年ぶりに対面開催されました。本企画は、2016年以降毎年、藤崎一郎元駐米大使（元上智大学特別招聘教授・国際戦略顧問）及び本学出身の各省庁幹部職員を招き、外交官・国家総合職等を目指す学生・卒業生を支援してきたものです。

シンポジウム前半は、パネリストの油科壯一経済産業省特許庁首席審査長（1990 理化、1992 院前理応）などから担当職務に関し説明があり、国家総合職内定者からは志望動機、勉強方法、モチベーション維持の仕方等に関して自身の体験が報告されました。後半は、参加者とパネリスト・特別ゲストとの質疑応答。同窓の先輩・後輩間ならではの真剣かつ熱心な質疑応答が行われ参加学生の関心の高さを感じました。

オールソフィアンの集い（ASF2023）への参加団体を募集します

2023年度（令和5年度）の「オールソフィアンの集い（ASF2023）」は、2023年5月28日（日）に開催します。当日、大学内の施設利用（教室・メンスト・体育館など）を希望する団体は、お早めにお申し込みください。現段階では食事・アルコールの飲用ができるか否かは未定です。多くの団体のご参加をお待ちしています。

グループ集会【教室利用】
の申込み

<https://sophiakai.net/asf2023/form-group/>



【模擬店（飲食物提供）
@メンスト】の申込み

<https://sophiakai.net/asf2023/form-mogiten/>



【フリーマーケット
（飲食物を提供しない企画）
@メンスト】の申込み

<https://sophiakai.net/asf2023/form-freemarket/>



【運動場・体育館利用】
の申込み

<https://sophiakai.net/asf2023/form-gym/>



問合せ先：ソフィア会事務局（info@sophiakai.gr.jp）

ソフィア会もウクライナからの留学生を歓迎 浴衣デーに浴衣をプレゼント

上智大学は7月よりウクライナからの留学生を受け入れています。故国での戦火を逃れ、日本ででの学業の継続を希望する学生たちは6月下旬に来日、必要な隔離期間を経て、7月1日より祖師谷国際交流会館など各学生寮に入寮しました。

ソフィア会ではできる限りのサポートをして行きたいと考え、まずはすっかり上智の夏の風物詩となった「浴衣デー」に参加するために浴衣のセットをプレゼント。4日の初登校の日に、オリエンテーション中の教室にお邪魔し、鳥居正男ソフィア会会長と国際委員会のメンバーが一人一人に浴衣をプレゼント。「ようこそ上智大学へ。お会いできて嬉しいです。」とキリル文字で模造紙に書いた手作りのボードと七夕の飾りでソフィア会らし



い暖かい歓迎の気持ちを表しました。

留学生たちは、緊張の中にも嬉しさと浴衣のプレゼントという驚きを隠せないようで、片言の日本語で謝意を伝える姿が印象に残りました。

ただ、プレゼントするだけではなく浴衣デー当日には着付けの先生にもご協力を仰ぎ7人の着付けをお願いし、髪型もそれらしく結い上げていただきました。浴衣デーもコロナ禍で3年ぶりの開催となり、キャンパスはいつに増して華やか！その出で立ちでキャンパスを歩く彼女たちの姿はもうすでに上智の一員として溶け込んでいたように思われました。

戦火を逃れての来日、そして日本と言う異文化の中での学業の継続は彼女たちにとってダブルのチャレンジでもあります。ソフィア会は大学と協力してウクライナからの学生の支援を続けていきます。



第2回「全国地域ソフィア会連絡会議」を開催ーブロック制度などを討議

ソフィア会の組織委員会は10月29日(土)午後1時から、学内2号館1701教室において、第2回目となる「全国地域ソフィア会連絡会議」を開催しました。これは、国内地域ソフィア会(76団体)の活動を活性化させ、お互いの絆をさらに強化するために組織委員会が主催する会議。第1回目以降コロナ禍で中断していましたが、3年ぶりに開催にこぎつけました。今回参加したのは九州から北海道までの38団体の代表およびソフィア会の役員など合計60名あまり名で、午後1時から予定を超える午後4時過ぎまで、あらかじめ決められたテーマに沿って熱心な討議が続きしました。

■ コロナの影響が大きかった各ソフィア会

会議は、組織委員会の石埜茂副委員長(1975外英)の司会で進行。ソフィア会の鳥居正男会長、次いで来賓の永井敦子副学長が挨拶した後、配布された出席者プロフィールに基づいて各出席者の紹介。その後、事前アンケートに基づいて国内地域ソフィア会の状況報告を行いました。

この中で明らかになったのは、コロナ禍によって各団体とも総会や各種イベントの開催が大幅に減少しているという実態でした。ソフィア会のWebサイト(ホームページ)を見ても、海外地域ソフィア会に比べて、国内地域ソフィア会の開催イベント報告が極端に少ないことが確認されています。やはり、コロナ禍が国内地域ソフィア会の活動にも大きな影を落としたようです。

アンケートではその他、各会員への連絡・周知方法については、メールが多いものの郵便もかなりの割合に上っていること、各団体とも新会員や若手会員の参加を広く呼び掛けていることなどが明らかになりました。LINEの活用を進めている団体もあり、同時にリアルとオンラインのハイブリッドで幹事会などを開催するなど、それぞれ工夫を凝らしているようです。

■ ブロック化については前向きに推進

続いて、今回の主要なテーマであるブロック制度についての討議に移りました。このブロック制度は、全国代議員会で承認されているソフィア会の「将来

ビジョン」に明記されているソフィア会の活性化施策。現在は、個々の地域ソフィア会がそれぞれ独自に総会や各種のイベントなどを開催しているのが大半ですが、その地域を大きく、たとえば九州、四国、中国地方というように大きなブロックでまとまって活動し、“ソフィアの絆をつなげ、拡げ、深め”、さらには組織ガバナンスの改善を図ろうというものです。

今回の会議では、このブロック制度案に関し組織委員会の宮野正昭副委員長(1975外英)が簡単に説明したのち、特にブロック化にいち早く取り組んでいる九州ソフィア会を代表し、福岡ソフィア会の西村仁宏会長(1987経営)がこれまでの取り組みを説明。その後、ブロックごとに参加者が集まり、約30分にわたり議論を深めました。

その後、各グループの代表者がそれぞれの討議内容を報告、ブロック化構想については前向きな考えが示されました。一方で区割りについては、同じブロックで隣接する県であっても行き来が難しいとか、反対に異なるブロックであっても交流があるなど、単なる地域単位ではなく交通アクセスなども考慮したブロック化が必要などの意見が出されました。

こうした発言を受けて、最後にソフィア会の池尾茂副会長(1966理機)が総評を行い、「今後、ブロック化を進める中でソフィアのネットワークを強化していきたい」などと語りました。

午後4時過ぎには会議が終了。その後、希望者は大学近くの主婦会館プラザエフに移動して懇親会を行いました。



ソフィアンの の 広場

コロナ禍の一段落に伴って、皆さまの行動範囲も徐々に広がってきた様子が窺われます。3 年来の災禍で四谷が遠くなった卒業生の皆さまには、改修工事が終了して 9 月 27 日に完成祝別式が行われた 1 号館前の広場の S テラスを見にいらしてください。

旧友たちとの久しぶりの対面による再会で、期せずして長くなった皆さまのレポートを短縮するのは至難。お気に召さない点がありましてもご寛容のほど願います。

海外ソフィア会 64 団体

ベトナム・ソフィア会

開催日：2022.05.20

ベトナム・ソフィア会を恒例の湖畔の創作料理店ペペラプールで開催。長らく制限されていた飲食店での会食の制限がなくなり、ようやく自由な環境の中で、いつもの和気あいあいとしたベトナム・ソフィア会となり、9 名が参集しました。帰国される宮田さま（2007 文英）に代わって下倉さま（1996 法国）が会長に選出されました。ベトナムに滞在されるソフィアンがおられましたら、是非、ベトナム・ソフィア会へご連絡ください。ハノイとホーチミン市で懇親会を開いています。



アイルランド・ソフィア会

開催日：2022.05.15

アイルランドは美しい夏の季節。ヨーロッパ内を中心に、人の往来もほぼ自由にできるようになり、長いコロナ禍から解放されて心が軽くなったように感じています。



今回のアイルランドソフィア会は、ダブリン都心のとても評判の良いラーメン屋さん Nomo Ramen へ。餃子やラーメンが美味しくて、賑やかなランチになりました。新しいメンバーを迎えて、アイルランドソフィア会はますます仲良しで和やかです。故 Walker 美津枝さんのご家族とも一緒に交流できて、とても嬉しいです。

フランス・ソフィア会

開催日：2022.05.13

コロナ禍で 2 年半近く対面行事ができませんでしたが、夏を感じさせるこの日パリ 8 区、OB の梅谷さんが経営されるうどんの名店「喜心」さんにて、事務局の山下さん（2007 文教）に幹事をお願いし、久しぶりの懇親会を開くことができました。出席者は 19 人。最年長の先輩が 1968 年卒、今回一番若い参加者が 2020 年卒、実に 52 年、半世紀以上の年代をカバーするフランス・ソフィア会らしい顔ぶれとなりました。会長からの挨拶で、2020 年に逝去された菅前会長を偲び、また会員の皆さんからの行事の提案や企画をお待ちしている旨を伝え、飯野さん（1968 外葡）の音頭で乾杯のあと、歓談を楽しみました。



LA ソフィア会

開催日：2022.05.28

コロナのために 2 年間開催できなかった LA ソフィア会をトーランスにあるミヤコハイブリッドホテル内のレストラン「伊勢志摩」のテラス席で開催。お天気も良く気持ちのよいランチ日和の中、参加者は、総勢 16 名。ZOOM などパソコン上で顔を合わせるのとは全く異なり、久しぶりにマスクなしの笑顔いっぱいの皆さまと美味しい松花堂弁当をいただきながらお喋りしました。



ソウル・ソフィア会

開催日：2022.05.23

ソウル市内の和風居酒屋で徐々に例会を開催。振り返れば、前回開催は 2019 年の 11 月、教皇様が母校を訪れた日でした。「じゃ次回は、2 月の旧正月明で」と別れたところにコロナ禍が・・・今回は写真の 8 名（韓国からの留学組 4 名・伴侶と在住者 2 名・駐在員 2 名）に加え、かつてのメンバー 3 名が日本からリモートで参加、1972 年卒業から 2020 年卒業までと年代も様々。しんみち通りを思い出すような居酒屋の献立、「久しぶりに目一杯、日本語喋った～」なんて発言が飛び出すなど、大いに盛り上がりました。



サンパウロ・ソフィア会

開催日：2022.07.14

今年度2回目の懇親会をムケッカレストランのBadejoで開催。12名の老若男女のソフィアンにご参加頂き、夜11時頃まで歓談に華が咲きました。今回は長年サンパウロソフィア会の幹事としてサポート頂いてきた讃井さん、またリオデジャネイロよりご参加頂いた黒須さんの歓送会も兼ねてのソフィア会となりました。駐在や出張・語学研修で御来伯の際には、サンパウロ・ソフィア会 saopaulo@sophiakai.gr.jp まで是非御一報下さい。



ミュンヘン・ソフィア会

開催日：2022.07.23

ミュンヘン市内のピアガーデンでソフィア会を開催。ソフィア会メンバー15名、ご家族を含め20名が参加しました。コロナ禍の影響で2020年1月以来と2年半ぶりの開催で、久しぶりの再会を喜び、天気にも恵まれ、楽しい一時を過ごすことが出来ました。



英国ソフィア会

開催日：2022.07.28

ロンドン市内にて夏の親睦会を開催しました。場所はホルボーンにある、老舗パブCittie of Yorke。各種パブ紹介本でも表紙を飾る、フォトジェニックな名店です。英国でのコロナ禍の落ち着いたにより、今回、新たに渡英した多くのメンバーをお迎えすることが出来ました！とはいえそこは同じ学び舎で過ごした者同士、気付くと閉店時間という遅くまで盛り上った次第です。



アムステルダム・ソフィア会

開催日：2022.07.28

久しぶりの懇親会をアムステルダム市内の飲茶レストラン Full Moon Garden で開催しました。夏休み期間中であつたためか、参加者は7名と通常よりも少ない人数での食事会でしたが、その分ディープな会話で盛り上がり、気がついたら開始から3時間半以上が経過していました。最近オランダに来られたばかりの新メンバーの参加もありました。



カンボジア・ソフィア会

開催日：2022.08.06

このところの新型コロナ感染症のため、なかなか集まることができませんでしたが、恩師の石澤良昭先生がプノンペンにご来駕の折、市内の中華レストランで3年振りのカンボジア・ソフィア会を開催しました。

参加者は、エク・ブントラ氏（文化芸術省副局長）、オム・ラビー先生（プノンベン大学副学長）、リー・バンナ氏（文化芸術省顧問／世界遺産国内委員会・委員長代理）、ニアン・シヴウタ氏（石油機構副総裁）、ティン・ティナ氏（アプサラ機構副局長）、ホー・スクンティアリー氏（設計・デザイン会社経営）、ニム・ソティーヴン先生（上智大学非常勤講師、研究員）、ピン・ピャクダイ氏（ブレア・ピフィア機構副局長）、ウォン・ソティアラ先生（プノンベン大学歴史学部学部長）の9名で、そして上智大学アジア人材養成研究センターからは、所長の石澤良昭先生、研究員のラオ・キム・リアン氏、萱間隆夫氏が参加しました。



バンコク・ソフィア会

開催日：2022.08.20

日本より「ザビエル・ラーニング・コミュニティ (XLC)」訪問団が来タイされたのを機に、大宅一裕氏（1973 外独）を団長とする14名の皆さんの歓迎会を開催しました。XLCは、イエズス会が運営する施設で、北部タイの少数民族に高等教育を提供し、英語力の向上を通じて貧困削減・経済格差の是正を目指す教育機関です。訪問団は創立5周年を迎えるXLCを訪問し、そこで学ぶ学生たちとの熱い交流を果たしました。バンコク・ソフィア会との懇親会では、初めての出会いの方ともソフィアンの絆ですぐに打ち解け、夜が更けるのも忘れるほどでした。



サンティアゴ・ソフィア会

開催日：2022.09.09

冬が終わりに差し掛かり、桜によく似たアーモンドの木が花を咲かす季節の当地ですが、コロナ騒動が始まってから3回目の懇親会を開催して事務局からいただいたソフィアワインを美味しくいただきました。異動の季節でもあり、8月上旬に木村さんが帰国となり、9月下旬には私片山（2014 外西）も転勤となりますので今後は柳川さん（2001 法法）に当会会長を引き継いでいただくことになりました。新会長のもと、ぜひ今後も会を盛り上げていっていただきたく思います。



国内ソフィア会 76団体

文京ソフィア会

開催日:2022.05.29

ASFに合わせて、母校キャンパスにて3年ぶりに文京ソフィア会を開催。飲食等に関する各種制限がある中、コロナを気にしながら、1963年卒から2015年卒までの17名のソフィアが総会・交流の場に集い、親睦を図りました。今回は5名の初参加者を得て、短い時間ではありましたが、3年分の活動・会計の報告に続き、各人の近況報告を行い、相互の交流の中で次回開催の可能性を探りつつ、充実したひとときを過ごしました。



九州ソフィア会

開催日:2022.08.20

2年ぶりとなる九州ソフィア会(福岡大会)を福岡市のモントレール福岡にて開催。コロナ第7波の影響下ですので、着座式のコース料理、いつもより少し短めにした時間設定、2次会以降を敢えて事前設定せず、等々敢えてトライしましたが、そういった制限も大きな支障になることなく、いつも通りの和やかムードでたくさんの笑顔があふれた盛会となりました。あらためて御礼申し上げます。翌日の小郡カンツリー倶楽部で開催のゴルフコンペも大盛り上がりでした。福岡在住の方、近隣の方々も、福岡ソフィア会に気軽にご参加ください。

ソフィア会ホームページには、関連情報(連絡先 e-mail・過去の催し)も掲載されています。



鹿児島ソフィア会

開催日:2022.10.15

鹿児島ソフィア会は例年10月に定期総会&懇親会を開催していましたが、この度3年ぶりのソフィア会を開催。本企画



計画当初は新型コロナ第7波が懸念され始めた時期でしたので、吉富会長(1987経営)の発案で、初の試みとして昼間の「茶話会」を実施いたしました。

当日は1966年卒から2015年卒までの鹿児島県在住ソフィアン11名が集い、近況報告や昔話に花を咲かせておりました。また来年は第12回地域ソフィア会全国大会が鹿児島で開かれますので九州ソフィア会の当番県として、取り組むことになりました。鹿児島ソフィア会全メンバー丸となって、皆様をお迎えしようと決意を固め1時間30分の楽しいひとときを過ごしました。

各種ソフィア会 151団体

77-43 経営ソフィア会

開催日:2022.05.29

「還暦ソフィアン純情派」と銘打った卒業後初のクラス会を2018年に主催して早や4年。今年は常に礼儀正しく丁寧で品位を感じさせるメールを送って



くださる新規ご参加の旧友2名と「卒業後41年振りの再会」を果たしました。手作りの紙の花29個が中心の内職感溢れる飾り付けを済ませた教壇上から、マスクを着用された、参加者それぞれが語られる貴重な人生を拝聴させていただき恩恵に浴し、「量より質」の醍醐味を堪能させられました。尊敬できる旧友との交流は、困難にも屈せず細々と活動を続けて来たことへの褒美かも知れないと、感慨もひとしおの一日でした。

SPEECC ソフィア会

開催日:2022.05.29

今年のASF2022は、リアル(対面)とバーチャル(リモート)のハイブリッド型で「SPEECC英文法祭り」を実施。対面はいつもの1号館205教室で「英文法LIVE」O×クイズを8回、リモートは206教室も使い「Zoom英文法Live」2択クイズを2回配信。さらに、今回は例年対面での「英文法大相撲」ランキングクイズをSNSで行いました。

当日の参加者は、両方のイベントを合わせおよそ100名でした。小中高生、大学生、留学生といった現役の学生ばかりでなく、親子やシニアを含む一般の方も熱心にクイズにチャレンジしていただきました。皆さんの英語・英文法への関心の高さが直に感じられる貴重な体験でした。



上智町屋セツルメント OB 会

開催日：2022.05.29

3年ぶりのASF 対面開催に合わせて、OB会を開催。上智町屋セツルメント活動が無くなって半世紀以上経ちますが、セトラをはじめ、子供会・英語会・保育園関係者に会えて楽しい会になりました。



体育会 OB 会

開催日：2022.06.26

佐久間理事長、曄道学長をはじめ多くの来賓と、各クラブのOBOG、現役学生が一堂に会し、令和4年度の上智大学体育会OB総会が開催されました。新型コロナウイルスの影響により、学内での開催は3年ぶりとなりました。

総会では、体育会OB会から上智学院へのSOPHIA未来募金の贈呈、体育会OB会活動計画報告に続き、令和3年度ソフィアスポーツ大賞の表彰が行われ、6団体、5名の選手に賞状、記念品が授与されました。授賞団体と個人の詳細はソフィア会HPの記事をご参照ください。

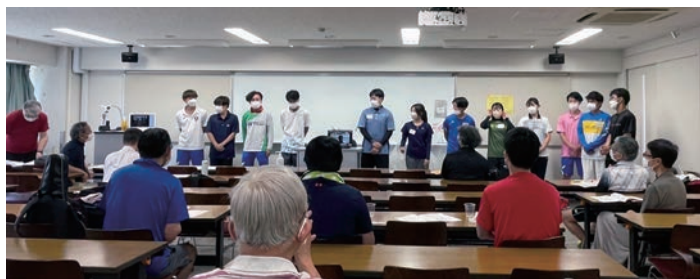


体育会ソフトテニス部 OB 会

開催日：2022.05.29

今年の総会はASFと同日にOB17名現役13名に加えZoom経由で7名の参加を得て、ハイブリッドで開催。議案の会則、附則の改定は無事に承認いただきました。今後はコロナとの共生を探りながらOB会の活動を活発化していきたいと、HPも充実させるべく検討中です。現役の活動も3年振りに開催された上南戦等、従来の活動に戻りつつあります。

来年のOB総会では金・ルビー・銀・銅祝の方々にもキャンパスへ足を向けていただきたくお声がけをさせていただきます。引続き会の活動へのご協力とご支援をよろしくお願い致します。



上智不動産ソフィア会

開催日：2022.07.06

恒例の納涼会ですが、今年は3年ぶりに対面開催が実現しました。場所は、2021年に竣工した常盤橋タワー。東京駅近くの好立地で、ガラス張りの店内から望む都会の夜景が本当に素晴らしいTATA BAR RESTAURANT CAFÉ。

コロナの心配が払拭されない中の開催の為、参加人数を予め制限をし、消毒などの対策を万全にした上で参加者を募集。上村現会長をはじめ、大越名誉会長と伊達前会長の歴代会長はもちろん、最近入会された初参加のメンバーや、女性も6名参加するなど、新旧メンバーが入り混じる非常に賑やかな会となりました。



学部・学科同窓会 22団体

史学科同窓会

開催日：2022.10.15

15回目の史学科同窓会秋の見学会を開催。JR中野駅に集合後、昭和の気配の漂う薄暗い中野ブロードウェイを覗いてから再開発されて若い家族連れでにぎわう北口公園に移動。グッドモーニングカフェでランチ。午後は徒歩またはバスで哲学堂公園に再集合。東洋大学創立者の井上円了が哲学や社会教育の場として作った哲学堂の園内を散策しました。四聖堂などの古建築物も公開されており、哲理門、独断峡、主観亭など哲学にちなむユニークな名前の付けられたスポット77か所をたどりながらのコースを楽しみ、豊かな秋の一日を堪能しました。企画・引率の労をとってくださった佐々木英夫先生に感謝いたします。コロナ禍で2年間開催できず、今回再開できて何よりでした。来年さらに多くの方に参加していただければと存じます。



講演会「経営者に聴く」開催レポート 「空気をかえよう」-エスター社長鈴木貴子さん

7月21日(木)午後6時から、学内2号館17階会議室およびオンラインのハイブリッドで、講演会「経営者に聴くシリーズ」として、「消臭力」や「ムシューダ」でおなじみのエスターの鈴木貴子社長(外西)の「空気をかえよう」を行いました。

鈴木さんは大学卒業後、日産自動車を経てLVMHグループなどラグジュアリーブランドのマーケティング&ブランディングでキャリアを積み、2009年、叔父の鈴木喬社長(当時)に「デザイン革命をやりたい」と乞われて1年後に入社。2013年に社長に就任し10期目を迎えています。

エスターは「グローバルニッチNo1」になることを標榜し、防虫剤、除湿剤、お米の虫よけ、冷蔵庫の脱臭剤は市場でトップシェアを誇ると同時に、常に社会課題を解決する新市場を創造しています。今回の講演会では「経営改革の軌跡」、「ブランド価値経営で利益回復」、「持続的成長に向けて」という3つの柱でお話いただきました。

鈴木社長は売上が伸び悩んでいた時期に就任したため、まずは収益の構造改革に着手。ブランド価値経営にシフト。せっかくのブランドがおろそかにされていたので、整理して絞り込み、消臭ブランドは「消臭力」、芳香ブランドは「シャルダン」にしました。そしてブランド価値を向上させるため、香りの質を向上させ、パッケージ

デザインを主要顧客である女性に好まれ

るものに変更。そしてブランドのプレミアム化をはかり、プレミアムラインを作りました。さらに、いまある資産を活用して新ブランド「洗浄力」を誕生させます。ご存じの、記憶に残るCMを打ち出し、ユニークなブランド人格を創り続けています。

このほか、今後の成長戦略や企業向けの製品、かおりの研究機関があること、森林の資源保護に関しても積極的に取り組んでいることなど、多岐にわたってお話いただきました。

価格競争から価値競争へチェンジさせ、情緒的価値を付加した製品群は、とても魅力的です。心に残ったのは、「ブランドは資産をためる器だ」という言葉。ブランドというのは、時間をかけて価値を積み重ねて形成されていくものだとこのことを知りました。

「経済界は軍事用語でできている。競合他社と戦わなくても、顧客に愛され、価値を作ることでお客様に喜んでいただけるのではないかと。そうすれば女性も社長を目指したいと思えるかもしれない」というお話にも、とても共感しました。

動画は、以下のYouTubeチャンネルでご覧いただけます。

<https://youtu.be/IASGumW6kZw>



上智大学が9月期学位授与式を挙行 鳥居会長が英語で祝辞

上智大学は9月20日(火)、2022年度9月期学位授与式を学内6号館101教室で開催、学部・大学院合わせて253名に学位記が授与されました(9月期学位授与式はすべて英語で行われています)。

当日は台風14号の接近で開式が1時間遅れましたが、式次第は予定通り進行。カトリック・イエズス会センター長のホアン・アイダル神父による祝福ののち、曄道佳明上智大学長が式辞を述べ、卒業生の代表者に学位記が授与されました。続いて佐久間勲上智学院理事長が祝辞を述べ、その後鳥居正男ソフィア会会長が祝辞を述べました。

祝辞の中で鳥居会長はコロナ禍で思うような学生生活を送れなかった卒業生を思いやりながら、「And today, you are here for your graduation ceremony. I would like you to keep in mind that once you are in society, it will be rather exceptional to be able to live in a fully prepared environment, and often you will not have full control over what goes on. You should be proud and confident in yourselves for the unique difficulties experienced and for overcoming them, thus being able to celebrate your graduation, a milestone of your life. This



experience will surely support you in the many years to come.」と、この経験がこれからきっと役に立つと卒業生を激励しました。

スピーチの最後には、ソフィア会のアピールも忘れませんでした。



「I would like to introduce the Sophia Alumni Association (Sophia-kai), Sophia University's alumni association. The two pillars of our activities are to contribute to the "development of the university and support students" and "to deepen ties among alumni." Under the Sophia Alumni Association, we have many smaller alumni groups both in Japan and overseas. Having studied under the same educational philosophy, the alumni of Sophia University share a strong bond that allows us to understand each other wherever we meet to "connect, expand and deepen Sophian bonds," as our slogan goes. Upon graduation from Sophia University, you will automatically become a member of the Sophia Alumni Association. Many faculties and departments also have their own alumni groups, so please be sure to make a web entry of your personal data as a graduate. The Sophians' Club is located on the sixth floor of Bldg. No. 6. as a place for networking among members. It is a cozy and friendly place. Please do stop by when you can.」

式典の後、通常はメンストに設置された学位授与式の看板の前で記念写真を撮る列ができるのですが、今年は台風のため看板も6号館内に。そして鳥居会長のアピールも奏功したのか、6号館6階のソフィアンズクラブにはいつにも増して多くの卒業生が訪れていました。

3年ぶりに学内で開催しますー12月9日にASC

ソフィア会は公式行事として、12月9日(金)午後6時半から学内アクティブコモンズ(9号館地下1階)およびオンラインのハイブリッド形式で、第15回目となる「オールソフィアのクリスマス(ASC)」を行います。

例年と同じように、午後6時半からの「クリスマスのいのり」、午後7時からの「クリスマスのつどい」の2部構成で、アクティブコモンズでの開催は3年ぶり。アクティブコモンズにお越しの場合は、前日までに指定の申し込みフォームからのエントリーが必要です。

学内参加の場合、マスクの着用と、ご入場の際には SOPHIA 未来募金(留学生支援のため)へのご協力をお願いします。



追悼

通知を頂いた方々のお名前と卒業年次・学部学科を掲載し、故人のご冥福を祈るとともに同窓生各位にお知らせいたします。

2022年4月~2022年9月届出(敬称略)

卒年	学科略称	氏名
1941	専商	伊東 嘉臣
1952	文哲	久野 勉
1952	文史	百瀬 幸夫
1953	経商	塩田 正志
1954	経経	射越 洋
1955	経商	平中 眞一
1956	経経	豊島 恒雄
1956	経商	菅原 隆司
1956	経商	渡辺 栄次
1957	経経	斎藤 英雄
1957	聖母	三輪 英子
1958	経経	本多 義之
1958	経経	佐々木 忍
1958	経商	安西 淳一
1959	経商	山本 信行
1959	外英	木村 敏和
1960	文新	稲葉 吉正
1960	文新	仙名 紀
1960	文新	高松 滋
1960	経経	松本 幸俊
1960	経経	佐藤 隆司
1960	経商	山口 雅弘
1961	法法	藤代 澄夫
1961	経経	松本 敏一
1961	経経	新津 秀男
1961	経経	大内田 康
1961	外英	米谷 豊
1961	外露	渡辺 了
1962	経経	佐藤 光弘
1962	外西	青木 孝賢
1963	法法	金本 光太郎

卒年	学科略称	氏名
1963	外西	長峰 明
1963	外仏	細谷 博
1964	経経	加藤 圭一
1964	外西	橋本 信秋
1964	外仏	山脇 百合子
1964	外露	甲田 眞琴
1965	文教	瀧澤 正隆
1965	文独	松村 淳
1965	外独	石田 宏一
1965	外独	天辰 享子
1965	外仏	仲尾 建生
1966	文史	西田 優美子
1966	文独	佐々木 直之輔
1966	文新	橋本 豊
1966	法法	高橋 登喜男
1966	外西	蓬台 雅彦
1966	理化	宮崎 厚生
1967	外西	梅村 捷也
1967	理化	東 敦子
1968	文哲	竹内 新二
1968	外英	馬込 一敏
1970	文英	河内 数人
1970	文英	高野 進夫
1970	文英	曾谷 悦子
1970	文新	森山 壽彦
1971	文教	富永 佐代子
1971	文英	正田 久子
1971	院前文英	赤坂 弥生
1972	文新	山本 隆章
1972	法法	高橋 章
1972	理電	根岸 邦夫

卒年	学科略称	氏名
1973	文社	栗津 純子
1973	外独	山崎 真理子
1973	理物	横関 博美
1974	文国	安田 紀子
1975	文史	戸波 哲
1975	理電	志賀 啓明
1975	理化	種村 明彦
1976	文新	伊沢 誠一
1976	経営	上原 恭子
1977	文史	中島 義雄
1977	外独	藁目 邦良
1977	院前外国	判沢 純太
1979	文国	三毛 美佐子
1979	経営	金田 晶子
1981	文史	佐藤 元
1982	文英	小林 康恵
1982	法法	大榎 誠
1983	法法	白木 豊
1984	文英	山内 暢子
1984	文仏	梁田 智子
1984	法国	濱口 真孝
1985	経営	小堂 俊樹
1986	文哲	武藤 美佳
1988	理機	藤井 伸明
1992	文新	飯島 尚子
1994	経経	池田 昌樹
2000	外英	松本 裕子
2001	外英	大野 ちひろ
2012	経経	市川 邑香

おめでとうございますー今年度叙勲 ソフィア会副会長と元会長が相次いで受賞

2022年春と秋の叙勲で、ソフィア会の副会長である池尾茂さん（1966 理機）と元会長である上原治也さん（1969 経営）が相次いで受賞しました。

春の叙勲（2022年4月29日発表）では、ソフィア会副会長で上智大学名誉教授池尾茂さんが瑞宝中綬章を受章しました。池尾副会長は上智大学名誉教授であると同時に上智大学学務担当副学長や上智学院理事、そして日本フルードパワーシステム学会会長などの要職に携われ、同時に理工学部同窓会顧問・前会長）など同窓会活動にも力を入れています。



上原治也さん

秋の叙勲（2022年11月3日発表）で受賞されたのは元ソフィア会会長である上原治也さんで、旭日重光章を受章。三菱UFJ信託銀行最高顧問・元代表取締役会長・代表取締役社長。三菱東京フィナンシャル・グループ元代表取締役会長。三菱UFJフィナンシャル・グループ元代表取締役副会長。



池尾茂さん（真ん中）

2022年度各祝式典は2月25日（土）に開催

延期となっていました大学主催の金祝（卒業50年）などの各祝式典について、右記の通り開催日が決まりました。当日の参加者には大学から祝状が贈られます。この機会にぜひ母校へお帰りください。住所が判明している対象の卒業生には開催案内が送られる予定です。慣例となっている式典後の祝賀会については、開催する場合には各実行委員会よりご連絡します。

詳細・参加申込みについては、案内はがきまたはソフィア会Webサイト（ホームページ）でご確認ください。

問い合わせ先：ソフィア会事務局（info@sophiakai.gr.jp）

開催日：2023年（令和5年）2月25日（土）

会場：上智大学四谷キャンパス内

対象年度・開始時間：

- ・金祝（卒業50年） 1972年卒業生（1971年度卒業生）・10時30分
- ・ルビー祝（卒業40年） 1982年卒業生（1981年度卒業生）・11時30分
- ・銀祝（卒業25年） 1997年卒業生（1996年度卒業生）・11時30分
- ・銅祝（卒業15年） 2007年卒業生（2006年度卒業生）・10時30分



第12回地域ソフィア会全国大会は 鹿児島で開催

今回の第12回地域ソフィア会全国大会は、鹿児島ソフィア会をホストソフィア会として鹿児島県鹿児島市で開催することが決定しました。コ・ホストソフィア会として九州の各ソフィア会が担当いたします。全国のソフィアンを歓迎すべく、現地では早くも準備を進めています。参加募集については、時期が来ましたらソフィア会のWebサイト（ホームページ）などで案内しますので、今からご予約を入れておいてください。



日時 2023年（令和5年）9月9日（土）14:00開始、10日（日）エクスカッション

会場 城山ホテル鹿児島（鹿児島市）

内容 情報交換会、大会式典、講演会、懇親会、エクスカッションなど

エクスカッションの予定

- ① 指宿コース（知覧特攻平和会館～唐船峡そうめん流し～砂むし温泉）
- ② 霧島コース（桜島～坂元の黒酢～霧島神宮～嘉例川駅の駅舎）
- ③ ゴルフコース

2023年度 ソフィア会年間スケジュール

2023年	2月 3日（金）～7日（火）	2023一般入試一次
	2月25日（土）【予定】	2022年度各祝式典
	3月28日（火）	学部・大学院学位授与式
	4月 1日（土）	学部・大学院入学式
	5月20日（土）【予定】	春季全国代議員会
	5月28日（日）	All Sophians' Festival (ASF) 2023
	9月 【予定】	ソフィアズカップ・ゴルフ大会
	9月 9日（土）～10日（日）	第12回地域ソフィア会全国大会2023 鹿児島大会
	9月20日（水）	9月期学位授与式
	9月21日（木）	9月期入学式
	10月21日（土）【予定】	秋季全国代議員会
	11月 1日（水）	創立記念行事・先哲祭
12月 3日（日）	ザビエル祭	
12月 9日（土）【予定】	All Sophians' Christmas (ASC) 2023	
2024年	3月25日（月）	学部・大学院学位授与式

訃報（2022年春～2022年秋）

※敬称略

3月26日	松本 栄二	上智大学名誉教授（文学部）
7月18日	ウラジミール・コース	上智大学元専任教員（比較文化学部）
7月22日	宗 正孝	上智大学名誉教授（神学部）
7月28日	高柳 俊一	上智大学名誉教授（文学部）
8月 1日	福嶋 章	上智大学名誉教授（旧文学部心理学科）
10月11日	菅原 勉	上智大学名誉教授（外国語学部英語学科）